

動植物シリーズ6

我が庭畑の果樹

2007-2013年

浅野誠 2013年6月編集

我が庭畑は急傾斜地で、畑にするうえではやや難しい。それでもやっているが、いずれ私の加齢がすすむと、作業量を減らしていく必要が出てくる。ということもあるし、もともと好きだということもあって、果樹を栽培している。幸い前所有者がマンゴーとライチの木を植えていた。

ということで、「果樹園?!」づくりを進めてきた。でも、「果樹園」といえる段階ではない。あと10年ぐらいかかりそうな気配だ。

それでも、いろいろな果樹を植え付け育ててきた。スタートしてから数年後からは、少しずつ収穫もできるようになったが、台風来襲などもあって、順調には進まない。

そんな事を、2007年スタートの「田舎暮らし・人生創造・浅野誠」ブログに書いてきた。それらを集約してみた。このブログは、容量満杯で、2013年4月以降は、「沖縄南城・人生創造・浅野誠」として第二次スタートをきっている。ここで見られたもののその後については、新ブログをご覧いただきたい。

なお、各項目の最後に、2013年6月現在の状況を書いておいた。

目次

アテモヤ	3	アボガド	5
インドナツメ	7	柿	8
カニステル	9	コーヒー	10
シークワサー	12	ジャボチカバ	14
テンニンカ	15	ドラゴンフルーツ	16
なつめ	26	パッションフルーツ	27
バナナ	34	パパイヤ	37
バンシルー (グアバ)	39	ピタンガ	42
びわ	43	ペピーノ	48
ホワイトサポテ	50	マンゴー	51
ヤマモモ	68	レイシ (ライチ)	69

※ 各記事冒頭の年月日は、ブログ掲載日

アテモヤ

2009年6月28日

初着果

昨11月南城祭りで購入した苗から。
一つだけ。



2009年9月3日

初収穫

6月28日の記事で着果を書いた。100日で収穫というので、今日とった。数日の追熟期間が必要だとのこと。来週あたり食べられるかな。

昨秋植えたばかりの小さな木なので、今年是一个だけ。それでも楽しみだ。 8.5センチの大きさ

2011年5月20日

つぼみ

枝葉の間から数個がぶら下がっている。

雨続きでうまく開花・受粉するかどうか心配。





2011年10月5日

我が家の今年の果樹は、台風の「お陰」でほぼ全滅状態。そのなかで、アテモヤが3個生き残っていた。低木だったからだろう。アテモヤは、昨年一個初収穫だったから、今年は「前進」とも言えそうだが、台風前には、もっとたくさん赤ちゃんをつけていた。

2012年1月8日

初めて食べる

4、5年前に買った苗木が成長し、2年前から実をつけ始めたが、食べられるほどでなかった。しかし、去年はたくさん開花し、実をつけ始めたが、台風ですっかり落ちてあきらめていた。

半月余り前、枝の剪定をしていて、一個の実が残っているのを発見した。常温保存していたら、熟し始めたので、写真のようにカットしてみた。



食べると美味しい。森のアイスクリームだったか、畑のアイスクリームだったか忘れたが、そう言われるほどのことはある、と感じる。

今年は、たくさん収穫できるといいなと、期待を持つ。

2013年6月現在 順調に生育し続けている。

アボガド

2010年10月24日

苗を植える

玄関脇に空間ができた。これまでプロパンガス置き場だったが、移動した。その後、埋め戻し修理工事のための砂置き場だった。それらのあとの空間に、アボカドの鉢植えを置くことにした。

金曜日に買ってきた苗木を植えた。接ぎ木苗で、期待している。〇千円と高かったのですが、それなりの実がついてほしいな。

現在、30~40センチ。ほうっておくと20メートルもの高木になるそうだが、我が家では、3~4メートルでOKというところだ。



2011年3月9日

植付後数か月、変化なしだったので心配していたが、ようやく芽が膨らんできた。

「大きくなーれ」

2011年4月3日

3月に入って新芽が出始めたが、寒さのためか、その後はゆっくりだった。

それでも新葉が広がり始めた。



2013年2月27日

鉢植えのアボガドの蕾だ。鉢植えだが、台風、とくに潮風にやられて、長い間、元気がなかった。ようやく元気を取り戻し始めている。

2013年6月現在 台風打撃から、ようやく回復しつつある。

インドナツメ

2012年10月28日

南城祭の出店で購入したインドナツメ。出店で試食したが、リンゴやナシの感じと言う説明だったが、私には青リンゴと言う感じだった。すでに蕾をつけた苗で、「春には収穫」という期待をもつ。



2013年6月現在 順調に生育している。

柿

2011年3月28日

2年前に購入した苗。

周りの木々が大きくなったので、細々と生きている。一応は成長している。今年も、芽を出した。

柿は、結実するまでに年数が必要だ。期待半分で期待している。



2011年6月16日

台風で、柿の幼木も、葉が全部飛んだ。しかし、比較的早目に新葉が出てきた。

しかも、日光をさえぎっていた隣のライチが、枝葉をたくさん落としたので、喜んでいるようだ。

その後、周りの木が巨大化し、柿の木への日当たりが悪くなったので、2013年初春に移植したが、6月現在、成功したかどうかはまだはっきりしない。

カニステル

2010年1月4日

別名 エッグフルーツ。

親戚から苗をもらい、2010年正月記念植樹。
数年後の結果を期待する



その後、順調に生育し、2013年6月現在、高さが2メートルほどになっている。

コーヒー

2009年11月18日

5年近く前、近所の人から、苗を三本いただいた。

少しずつ成長するが、実をつけるわけではない。

昨年、ヤンバルに行ったときに、コーヒーの専門家から、酸性土でないとうまくいかないことを聞いた。

我が畑はアルカリ性だ。そこで、酸性の鹿沼土とピートモスを中心にした土をつくって植えてみることにした。



この実験結果次第で、他の2本、そして同様に酸性土がいいといわれているものの移植を試みようと思っている。



2010年4月13日

開花した。楽しみだ。

2010年7月14日

開花からちょうど3ヶ月。楽しみだ。



2010年10月15日

豆の初収穫

合計数十粒なので、コーヒーになるかどうか。
隣人から5年前にいただいた苗木が、ようやくここまで来た。



2011年4月29日

昨年、初開花し、秋には数杯のコーヒーになった。
今年は、さらに元気よく咲き始めたので、10数杯のコーヒ
ーになるか。
欲張っている、数十杯になるか。期待は大きい。

右の写真は、昨日撮ったつぼみ段階のもの

※ 2011年5月以降、2012年9月までの台風
は、コーヒーにも被害を与え、収穫はほんの少しだ。し
かし、2013年6月現在、生育は順調で、「今年こそは、
豊作を」と祈っている。



シークワサー

2007年9月9日

ベランダにあるシーカーサー。最初は、庭に植えておいたが、元気がない。我が庭・畑は、ジャーガルでアルカリ性であるので、当初から、酸性を好む柑橘類は難しいとは思っていた。でも、周辺の畑で育っているものもあるので、ともかく植えてみた。

結局、畑から取り上げて、酸性土を主にして、鉢植えにした。その後は、元気を取り戻し、ぐんぐん成長しはじめている。そして、アゲハ類の蝶々が卵を産みつけるので、観察していても楽しい。

来年くらいから着実しないかと、楽しみにしている。



2009年2月13日

開花第一号。数日前につぼみをたくさんつける。

この木は小さいので、まだ収穫はない。

今年が第一期になれば、と願っている。



2009年8月31日

高さ70センチになった。

植えて4年、はじめて実をつけるが、50個もある。

2009年12月27日

鉢植えで今年50個実をつけたが、狭くなったので庭に移植した。
5年前も露地植えしたが、土が合わなかったようなので、鹿沼土を
加えて鉢植えした。

今回も鹿沼土とピートモスで酸性化させた土に植えてみた。



2010年9月1日

昨年は40個だったが、庭に移植した今年は3個だった。
枝が大きく伸びてきている。
来年は大収穫を期待している

2011年3月24日

今年最初の開花。

※ その後、台風でさんざんな目にあうが、木そのものは、
順調に生育し、2013年6月現在、2メートルを越えている。



ジャボチカバ

2008年8月17日

熱帯ドリームセンターで購入してきた苗だ。

添付されていた説明紙によると、「ポリフェノールがブルーベリーの2倍以上でビタミンCがレモンより多く、糖度が15°～18°ある」

楽しみにしている。



※ その後、大苦戦だ。とくに台風の影響が大きい。2013年6月現在、生きてはいる、という状態だ。

テンニンカ

2012年8月13日

昨年5月に東村で購入してきた苗がしっかり成長した。さらに、春に開花したものに、いっぱいの実がつき、熟してきた。

ウェブで調べると、「熱帯の超ブルーベリー」とある。食べてみた。味は、「超ブルーベリー」とまで行かないが、食べられる。今年は、数十個の収穫だ。

来年から、もっと美味しくなることを期待する。

下の写真は、樹上で熟し始めた実



※ この後、台風の潮風を浴びたためか、元気がなくなってきた。2013年6月現在、やっと生きているという状態。今年は、花も実もだめだ。

ドラゴンフルーツ

2008年6月21日
四年目。ついに実をつける
赤ちゃん第1号



2008年7月29日
収穫第1号
以前の記事で、赤ちゃんとして紹介したもの
38日で無事収穫

2008年8月1日
我が家の初物を食べる。
赤い。
甘味がすごい。



2008年10月20日

畑に植えていたドラゴンフルーツは、今年始めて収穫した。しかし、レイシなどまわりの木々も大きくなってきたので、太陽に当たらない時間が増えてきた。

そこで、常時太陽のあたる屋上に移植することにした。

屋上の断熱作戦にもなる。伸びてきたら、下にたらすこともできる。

しかも、水やりをしなくてもいいなど、手がかからない。

この一鳥二石の作戦の成功を祈る。



2008年12月15日

10月20日に植えたが、元気よく伸びている。

屋上で太陽をいっぱい浴びる環境がいいのか生育がいい。以前に下の畑に植えた時より、ずっといい。

来夏には屋上のかなりをおおうだろうし、早ければ、収穫も期待できるかも、と皮算用である。

2009年6月6日

屋上で順調に生育し、6月には蕾をつける。





2009年6月10日

夕方6時ころ、少しつぼみが開き始める。
そして、7時30分ころしっかりと開花

2009年6月11日

翌朝の写真

一晩だけの開花だ。

月下美人と同じだ



2009年8月1日

十数個結実

さすが屋上は太陽に恵まれている

2009年8月1日

収穫。直径8センチ

2、3日前に収穫した方がよかったか
口が開いてしまった



2009年8月4日

恵美子作のフルーツカンテン

マンゴー、パッションフルーツ、ドラゴンフルーツ
すべて、我が家の産物だ。

2009年9月10日

昨年秋10ぐらい挿木したのだが、屋上という絶好条件のためか、
たくさんの収穫。

つぼみのうち、半分ぐらいが開花し、そのうちまた半分ぐらいが
実になる。皮だけでなく、中身も赤い、甘い種類。これは、他花授
粉なので、なかなか実にならないということだ。でも、我が家屋上は、
自然の中なので、夜でも虫がたくさんくるようだ。





2010年6月16日

我が家の屋上

これから1時間ぐらいで開花するが、暗くなるので、フラッシュなしの携帯写真では不可能。

大きな花だ。

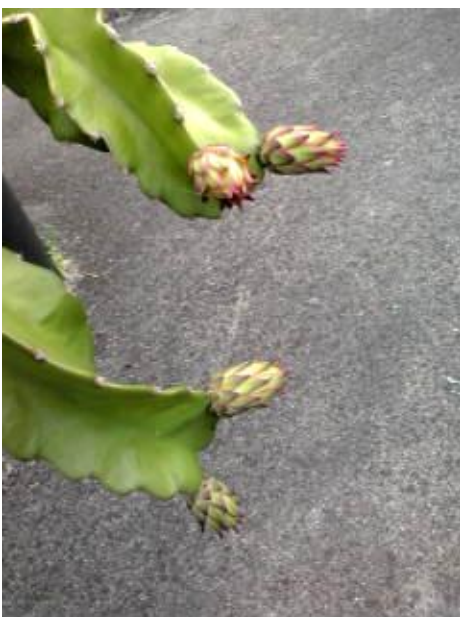
花は直径10cm以上。花の先端から元までは30センチ近くになる。

月下美人と大変似ている。

今年は、多雨低温で、例年より少なめだが、梅雨明けになると、たくさん開花し、いっぱい実をつけることを期待している。

2010年6月16日

上の記事の40分後、真っ暗になって開花
今度はデジカメでフラッシュで撮影



2010年6月22日

我が家屋上。ここ1, 2日で10以上のつぼみがつく。先日開花した3つのうち1つが受粉に成功。7月半ばには食べられそう。



2010年7月11日

今夜は、旧30日。そして、晴れ。さそり座と天の川を撮影するつもりだったが、失敗。それで、屋上に咲くドラゴンフルーツを撮影したというわけ。2枚の写真は、花が違う。

明日は、10個以上一斉に咲くはず。不思議なことに、満月や新月の時に咲くのだ。

前回の満月の時に咲いたのは、立派な実になってきている。そして、今小さいつぼみ20数個が、次の満月に咲くのだろう。

左下写真 2010年7月26日

今朝9個色づく。そのままにしておくと、アリや虫、さらに鳥が食べにくるので、急いで収穫。一個は中が白いが、8個は中が赤い種類。赤いほうが美味しい。

今年は順調に収穫が続きそうだ。



2010年7月26日 右写真

屋上に置き始めて3年目。順調に育ち、今年はすでに30個ほど収穫。気を良くして、さらに増やす。

箱に、砂と堆肥をまぜ、少量の有機肥料を入れる。それに大きくなったドラゴンフルーツを切り取って入れておくだけ。単純かつ安上がり。



2010年12月7日

今年最後の収穫。今年はたくさん実をつけてくれた。

100個以上だ。

屋上果樹園は、いまのところ順調だ。



2011年6月3日

風速56メートル吹いた台風で、低くてずんぐりして、風の影響をうけにくいドラゴンフルーツも、15個中2つ倒れた。いくつかちぎれて、地面に飛んでいった。

屋上にあって、風をまともに受けるから、仕方がない。ほとんどが倒れず、95%以上大丈夫というのは、「立派」だ。もっとも被害が少ない果樹だ。

2011年6月15日

果樹で、台風後の立ち直りがもっとも早いのはドラゴンフルーツだ。

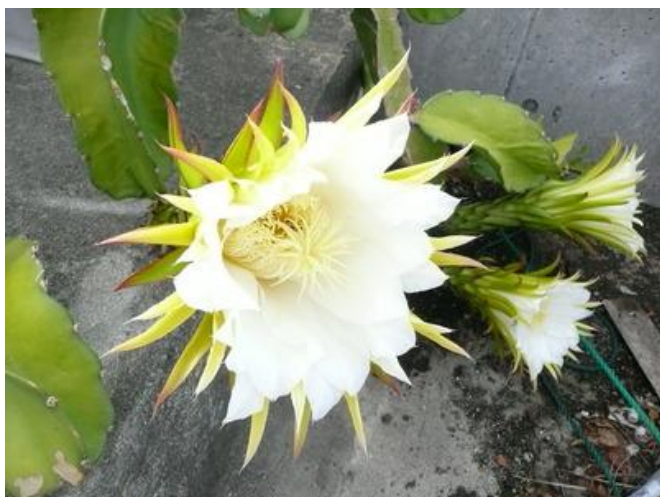
蕾を20個近くつけている。毎年、この時期から始まる。蕾になってから、半月たらずで開花し、その後20日で収穫を迎える。

写真のつぼみは、あと数日で開花。

ふつうは、満月または新月前後に開花するが、今回は、少々ズレそうだ。

7月中旬からの収穫が楽しみだ





2011年6月23日

20～21日に18個開花。20日後には収穫だ。これからも月に2回のペースで、開花結実してくれると期待している。



2011年7月17日

初収穫。台風で、例年より少し遅れる。

6月22日ごろ開花して、今収穫。

7月14日ごろ20個余り開花。8月10日収穫だろう。

下写真 2011年9月28日

台風で我が家の果樹が大被害を受けた中、被害が比較的少なかったのは、屋上のドラゴンフルーツ。

それでも、平年の2割程度の収穫。撮影は、25日夜9時過ぎ。



2012年7月16日

右写真は、夜8時過ぎに、フラッシュ撮影。この時間から咲き始め、朝にはしぼむ。

我が家屋上には、ドラゴンフルーツのコンテナが15個ほど置いてある。

土は、砂と堆肥と竹炭の粉を混ぜたものだ。元気よく育ち、毎年収穫できるようになった。それ以前に、普通の土に堆肥を混ぜたものは、あまり芳しくない。

台風襲来の昨年だけは、例年の1/3の収穫になり、茎もかなり傷んだ。今年は、例年のように復活してきた。水やり不要なので、手間がほとんどかからない。加えて、屋上のかかなりの面積を占めているので、少しは暑さ除けにもなっている。

中左は、開花2~3日前の蕾。中右は、開花寸前（夕方6時ころ）。



左下は開花。右下は、気づかぬうちに「樹上完熟」して、実が割れてしまったもの。割れてそんなに時間がたっていなかったもので、すぐに食べる。けっこう美味しい。





7月下旬からは、1日一個のペースで収穫できそうだ。
6月下旬からの好天が、ぐんぐんと成長させている。

2012年8月7日

台風接近で、屋上のドラゴンフルーツを見に行ったら、11個も収穫。6月下旬からの好天に恵まれ、すくすく成長してきたのが、ここまで来た。蕾段階が10日余り、開花後、成長し赤みがかって収穫に至るまで20日ほど、という時間だ。



今年は、上手くいきそうだ。去年は、大型台風で、平年の五分の一ほどの収穫だった。去年の後遺症は多少あるが、今年は期待の年だ。

下は、切った写真だ。我が家のものは、外観も中味も赤く、甘みの強いもので、評判がいい。
今度の台風は、通り過ぎてからが大変だった。長引く風雨。



※ 2013年になると、なぜか生育がよくなく、6月中は収穫がなさそうだ。5月末に一輪咲いたが結実せず。
昨年台風の潮風のためか、降雨量増大のためか。よくわからない。

なつめ

2009年9月15日

2004年まで住んでいて、今は娘夫妻が住んでいる
愛知の家の庭で棗（なつめ）の収穫

棗の実を薬用酒にすると娘はいつている
千個以上実る



パッションフルーツ (とけいそう)

2008年10月1日

我が家入り口の橋の「欄干」に沿って伸びている。このところの雨で生育がよく、いくつもつぼみをつけていたが、今日になって咲き始めた。実になることを祈っている。



2008年10月28日

パッションフルーツの人工授粉を一週間前からしはじめた。かなりの率で成功。

写真の上からの順で説明しよう。

- 1) 今日開花で、これから人工授粉するもの
- 2) 見えにくいですが、2、3日前に人工授粉したもので、とても小さな実が見える
- 3) 数日前したもので、はっきりと実が見える。
- 4) これは、人工授粉以前に唯一実をつけたもの。

毎日、3～4時に人工授粉をしている。やり方は、指でオシベの粉をメシベにこすりつける。

このやり方が正しいかどうかはわからないが、ともかく成功している。

11月になると、収穫がたくさんということになりそうだ。

2009年1月22日
食べころ。



2009年5月16日
今年の開花1号。早速人工授粉



2009年10月20日
蕾が100個ほどつく。
週末から開花するだろう
人工授粉作業が日課になる



2009年10月23日

今秋の初開花。

一挙に十個。

早速人工授粉。

今春の収穫は十個余りと少なかったが、今秋はかなり行けそうだ。

2009年10月26日

毎日20~30個開花。一本の苗から
苗から植えて四年目。

収穫は、40日ぐらい後で。



2009年10月30日

授粉後一週間足らずで3センチになる

2009年11月27日

玄関脇

百個余り

あと1、2週間で収穫



2009年12月14日

130個になっているものを順次収穫

シワがでてくると食べごろ

2010年4月23日

昨年春、畑の中央に苗を植えた。玄関先の橋に沿わせているものについて二本目だ。

一週間前から開花。人工授粉作業が必要だ。開花最初の年なので、一日0～3個のペースだ。

玄関先のものは、昨秋たくさん実をつけたので、今春は休憩なのだろうか。開花はまだだ。





2010年6月22日

今年の初収穫

そして新しい苗からの初収穫

一つは、しわが入っていて、食べごろのようだ。

2010年7月11日

我が畑のもの

昨年植えた

もう一本は玄関の橋の手すりに

畑のものは紫になるが、こちらは黄色くなるもので、種類が違うが、昨年から収穫

写真は、上から下へと。熟していく順に並べた。

取った時は、緑がかっているが、すぐに紫になり、しわが出てきたら食べ時



2010年10月14日

10個以上同時開花

連日人工授粉作業になる

年末年始は楽しい収穫スタートになりそう

2010年10月21日

晴れたら開花することを発見。専門家なら知っていることだろうが、私には新発見。

たくさんつぼみをつけているのに、どうして開花しないだろう、と気にしていた。このところ、1日に1~2個なのだ。ところが、今日昼前後から雨がやみ、時々太陽もさすようになったら、いっきに11個開花。

私の推理。虫に受粉を助けてもらっているので、雨がふったら虫がこない。晴れたら虫が来る。それが「晴れたら開花する」理由だろう。昨日の雨模様の時咲いた花は、雨に濡れない場所だった。

賢い。

今、20個ぐらい小さい実ができています。去年は100個ぐらいだったが、今年は、それを超えそうな気配。今年は春から夏にかけても30個ぐらい実をつけた。

正月から収穫できそう。好きな人は、正月明けぐらいにおいで下さい。

2010年10月24日

耳かきを使う私流パッションフルーツの人工授粉

左下に写っているのが耳搔き

成功率は、80~90%ぐらいか

ここ3~4日は連日20~30個だが、今日は38個人工授粉



2010年12月5日

鈴なり100個

玄関通路欄干沿い

間もなく収穫時期

2011年1月8日

我が家で収穫したもの。今年は、110個。

やや右よりに見える、しわがより始めたころが食べごろ。

この木は、7月と1月の年2回収穫できる。

味も酸味が強いが、それもまた味をよくしてくれる。

来客へのいいプレゼントになっている。

恵美子はゼリーにしたりもする。

半分に切ったものに泡盛を少したまして食べるのもいい。



2011年4月3日

収穫を終えて、1月終わりにほぼすべての枝をカットした。

そこから新しい枝が伸び始めた。今年は、寒さで『慎重』な伸びだ。

5月にもなれば開花し、7～8月には結実することを期待している。

これは玄関脇のものだが、畑にはもう1種類のものであり、その方の成長は早い。

※ 2011年5月末から2012年9月末の度重なる台風で、全滅状態になり、2012年春に植えたものが、2013年5～6月になってようやく開花するところまでこぎつけた。

バナナ

2007年5月3日

超ミニバナナに実が付きはじめた。このバナナは、高さが1メートルしかない。この写真も、私が普通に立った姿勢でとったものだ。

でも、「幹」は太く、実は普通の島バナナと同じ大きさになる。真夏には2回目の収穫になりそうだ。



2008年4月17日

三尺バナナ

2008年7月16日

春先に実をつけはじめたものが、ついに黄色がかったので、今朝収穫した。

三尺バナナは高さが1メートル少々ぐらいの小さなものだが、実はしっかりとつける。

3年前に購入した苗だが、このごろでは毎年2回ぐらい収穫できるようになってきた。





2008年12月21日

移植。

最初に植えて4年近くなる。

この間、何度も収穫させていただいた。

隣の家へ移住したのもいた。

今、残っているのは三株だが、少々元気がなくなっている。土の精力が足りなくなっているようだ。

ということで、一株を今日移植した。



2010年8月19日

バナナのなかに育ちが悪く実をつけそうにもないものが出てきた。原因をいろいろと考えたが、隣の木が大きくなって、日光不足ではないかと思い、移植することにした。



2011年6月2日

風速56メートルの台風で、いろいろなものが倒れ、折れ、曲がった。

バナナ、ワシントンヤシ、クロキ、グアバ=ばんしるー（これだけは、倒れただけで、起こすことができた）。

2012年10月28日

続いた台風襲来で、バナナは、ついに一カ所だけに縮小してしまっただけで、新たに一本植え付ける。



※ 2013年6月現在 台風禍からようやく回復し始めて、2カ所で生育している。それでも、台風後収穫第1号は、秋以降になりそうだ。

パパイヤ

2009年3月22日

一昨年出てきたパパイヤ。もう3mは越す。すぐ隣のクロキと競合している。大きな実をつけ続けている。

特別な肥料をやっているわけではないので、農家のように立派ではないが、我が畑にしては立派。

木の傍のパパイヤはウィルス病になりにくいという説を聞いたことがある。ことの真偽は知らないが。他のパパイヤが一年余りでダメになるのだが、このパパイヤは元気がいい。



2009年4月13日

今朝収穫

おいしい。空洞も種もない。こんなの初体験
種こぼれから大きくなった。

現在高さ3メートル。高すぎて取るのに苦労

2010年4月14日

黄色くなってきたので、取ろうとすると、ポロっととれる。タイミングピタシの感じ。これ以上、樹上にあると、コウモリに食べられるだろう。

とってから、5日ほどたつ今日、切って食べてみる。いける。我が家では、たいてい野菜として食べるが、果物でもいけそうだ。

野菜くずから自然に出てくるものもあるが、苗を買ってきて植えるものもある。これは、買ってきた苗からのもの。



2010年11月9日

我が畑。美味しい

いつもは野菜で食べるが、今回はきれいに熟したので、果物にする。

あと1, 2日ほっておくと、鳥に先を越される。絶妙なタイミングだった。

※ この後、台風の連続攻撃を浴びて、困難な事態が続く。2013年6月現在、こぼれ種から一本、購入苗二本を育てている。まだ10~40センチぐらいだから、収穫は早くて年末だろう。

バンシルー(グァバ)

2010年5月25日

今朝、小さな実を発見。

2年前、花野果村で購入した台湾バンシルーの苗。

すくすく伸びて、2-3メートルになる。楽しみにしている。



2010年9月21日

バンシルーは、大型の実をつけるという台湾系のものを1本植えて、大きくなり、今年一つ実をつけたが落果した。

あちこちに見かけるものが、よく地面から生えてくる。近隣の人は、鳥が運んでくるのだ、という。

2011年5月7日

数年前、花野果村で購入した苗木が大きくなった。

最初に植えた場所が良くなかったので、一度植えかえた。

その後は順調に生育し、ついに開花した。

かわいい花だ。





同じ花を拡大して撮影。右の写真は、数日前のつぼみ状態

2011年6月9日

台風で大きく傾いたバンシルーの木。付けたばかりの実の赤ちゃんも全部飛ばされたと思っていた。

しかし、数個ぶら下がっているのを発見。大きく成長するのを期待している。



2012年8月11日

数年前に、実が大きいという台湾系の苗木を中庭に植えた。しかし、場所が悪かったせいか、成長が芳しくなかった。我が畑の南端に植え替えた。すくすく成長し、昨年初めて実をつけた。しかし、台風によられた。

今年も順調に生育し、実もたくさんつけている。数日前の台風で傾いて、心配したが、大丈夫のようだ。

その際、すでに熟している実を発見。収穫してみた。台風の風のために、表面がすこし傷んでいる。



食べてみたが、
まだ早かった。

右の写真は、木
全体。



左下は実をつけている枝の写真だ。樹高は、3メートルぐらいだ。



右の写真
は、鳥に食
べられた実
だ。鳥に先
を越されな
いように、
収穫しない
といけない。



2012年8月25日

台風が近づく。今年は、近づきそうで、はずれていく。だから、台風対策に気持ちが入らない。



それでも、まずは果物だけは収穫しておく。

バンシルーも、最後の20個余りを収穫。取りに先を越されたものが多いが、それでも今年は、100個余り収穫できた。

※ その後も、台風にやられたが、他の果樹ほどの打撃は受けていない。2013年6月現在、とくに問題なく生育している。

ピタンガ

2013年2月27日

2年ほど前に植える。まだ小さかった
ので、台風の影響は少なかった。

2012年にもう一本加える。

ピタンガの開花。

実は1センチぐらいで小さいが美
味しく食べられる。昨年
から収穫し始めた



※ その後、少しずつ食べる。小さい実だが、熟すと赤くなるので気づく。まだ、せいぜい2～3個ずつの収穫だが、何個も収穫できる日を待っている。

びわ

2007年7月30日

ビワに薬効があることは以前から聞いていた。苗店でもなかなか見つからなかったが、半年ぐらいかけて探していて、ついに見つかったので、昨秋植えつけた。

だから、まだ高さ50cmくらいの小さいものである。大きくなることを夢みている。小さいけど、葉はもう結構大きい。葉を乾燥させて少しずつ薬草茶に使っている。



2008年2月27日

昨年植え付けたばかりで、高さ50cmぐらいだがもう実をつけた。早速鳥がつついている。

2010年11月24日

我が家の畑は、野菜中心から果樹中心へと移ってきている。果樹の育て方の本を買ってきたので、それを参考にしながら、果樹を育てている。

そのうち一昨年初めて実を数個つけたビワの木。去年はゼロ個だった。今年は花芽をいくつもつけているので、多少の期待をしている。

高さが3メートルになっているが、本によると、剪定をした方がいいらしい。本当は9月までに、ということ



だが、本州基準の本なので、沖縄ではまだいいだろう、と勝手に決めて、やることにした。中心の幹を切って、主枝をいくつか横に広げるといふものだ。ビワの後ろにあるザクロが、ビワの陰になるのを避けることもできる。

大胆に主枝を切ってみた。頂点の枝には花芽がついていたが、他の枝には花芽はまだはっきりしていなかった。切った枝の葉がたくさんあるので、それは乾燥させて薬用茶に使うことにする。それを洗って干す。

前ページ写真は、網に入れて干しているところ。

切った枝ももったいない。もしかすると挿し木ができるかもしれない、と思って水に浸けておいた。

本をみると、ビワなどの挿し木方法がのっていた。すると、もっと短く切ってやる、ということだ。とすると、20~30本もできてしまう。

そこで、大きいままやってみる私流の実験を試みることにした。実験だから、うまくいくかどうかの保障はない。

実験は以下の通り

1) 枝は、50センチぐらいのもの二本



2) 葉は、大部分を落として、各枝に10枚足らず残す。残した葉は2/3ぐらいを切る。枝先は、ポリ袋をかけて、水分が蒸発し過ぎるのを防ぐ。

3) 土は、おおよそ本の通り。赤玉土、鹿沼土、砂、堆肥を混ぜる。挿した枝の周りは主として鹿沼土。

4) 枝が動かないように、脇に珊瑚岩のかけらを置く。

5) しばし水やりは欠かさない。

さてうまくいくかどうかは、わからない。二本のうち一本でもと願う。

※ 結局、失敗だった。



2010年12月10日

一昨年、初めて数個収穫したが、昨年はゼロ個

今年は、たくさん開花し始めたので、期待に胸を膨らませている。



2011年1月10日

今年は本格的に開花。

すでに実になりはじめたものも多い。

収穫を楽しみにしている。

2011年2月17日

果樹の本によれば、摘果すべきとあったので、やってみました。

開花時期に摘房というのをやるべきなのだそうだ。来年はやってみよう。

摘果して、現在、各房に数個。全体で15房近くだから、全体で50~60個の収穫を期待する。

初めてのかなりの収穫なので、わくわくしている。



2011年3月2日

枇杷の実が色づいてきた。

数日で収穫できるだろう。

鳥にとられないように、網をかけた。

2011年3月24日

今朝収穫しようとする、全部食べられていた。下には種が落とされている。網をかけておいたが、網をはねのけてある。鳥は賢い。

対策は二つ。もっと厳重に網をかける。熟しかかり鳥に食べられる直前に収穫する。トマトでしていることだ。まだ50個ぐらいは、これから熟し始める。知恵比べだ。

2011年3月30日

写真上端に、鳥に食べられて、種が見える実が写っている。

鳥よけに網をかぶせたが、網の下からもぐって行って食べている。

しかたなく、全部収穫する。

来年からは、鳥に負けない知恵をひねり出そうと思う。



2011年7月4日

5月初めの台風で、収穫がダメになり、さらに5月末の台風の潮風で、枝葉がやられた枇杷。

それでも元気よく回復。もうほぼすべてが新葉になった。

写真は、3階より写す。薄緑色が鮮やかだ。来年こそは本格的収穫を、と期待する。

2013年3月2日

ビワの収穫がスタートした。昨年は数個だけだったが、今年は100個ぐらい実をつけている。

しかし、黄色く色づき始めると、すぐに鳥が食べてしまうので、黄色くなる直前に収穫するしかない。本当は袋がけしたほうがいいのだろうが、そこまでの手入れはしていない。

さらにいうと、実を大きくするために、摘果をした方がいいと、本には書いてあるがしていない。来年以降考えてみよう。

収穫後、室内で保存して数日後、食べる。小さい実だが、「まあまあ」というところだ。より美味しい実を育てる工夫を学んでいきたいと思う。



左の写真は、樹上の実だ。

昨年の台風で、枝葉がかなりやられはしたが、台風後に開花だったので、収穫にまで至った。

ペピーノ

2010年4月30日

苗店で売っていたので、3月に植えた。面白そうなので、4月に二本追加した。

下に写っているのが実だ。

トロピカルフルーツというキャッチフレーズだが、私は初めてなので、よくわからない。

楽しみではあるが。



2010年5月22日

初めて食べる。まあまあの味
ちょっと早過ぎたか

2010年5月26日

花がおいしい実になることを期待する。

数センチの小さい花だ。

ナスの仲間だから、当然ナスの花に似ている





2011年2月7日

昨年、4株植えた。昨年は一つしか収穫できなかった。

今年は、すでに随分大きくなってきた。

今年の初開花だ。

今年は、たくさん収穫できることを期待している。

2011年3月6日

2月に初開花したペピーノが、満開状態。

花としても楽しめそう。

昨年春、4本植えたが、1本はうまくいかず、2本はまあまあ。

写真の1本は、すごい生育。

土や日当たりが影響しているようだ。

写真の一本は、いくつ実をつけてくれるか、楽しみだ。



2011年3月20日

沢山の花を輝かせて続けているペピーノ。もう一カ月も咲き続けている。

どこかに、赤ちゃんの実があると思い、毎日探し続けるが、ようやく発見。楽しみだ。

※ その後の連続台風で、すっかりやられてしまった。それにもめげずに再挑戦するほどまでの意欲はないので、今は不在状態だ。

ホワイトサポテ

2009年5月4日

がんじゅう駅では、いろいろな出店があった。その一つは、果樹苗木販売だ。

昨年11月の南城祭のときに、アテモヤ苗木を購入した人にまた出会った。

今回のおすすめは、ホワイトサポテだった。とっても甘くて、実がよくつくという。ホワイトサポテのなかのチェストナットという種だ。

早ければ来年から、多分再来年くらいから、収穫を楽しめることを期待している。



※ しかし、植えた場所の条件が悪かったこと、台風被害などのため、ダメになった。再挑戦のつもりで、2012年秋に別の場所に、新しい苗木を植えた。

マンゴー

2007年3月5日

我が家の庭のマンゴーが開花しはじめた。マンゴーを実らせるには、ビニールをかけたりといろいろな手入れが必要と隣の農家の方が教えてくれたが、私には難しいと思い、そのまま大きくすることを選んだ。だから、マンゴーの実がつくことではなく、木として立派になることを期待している。今でも5メートルの高さだが、20mとか30mになると、本には書いてある。



2007年3月27日

私には、いろいろとアドバイザーがいる。とくに私の不得意分野の自然系は、とっても助かる。その一人は、『沖縄田舎暮らし』本をいっしょにつくってくれた屋比久さんである。

その彼から、新しいアドバイスが入る。私はかねてからマンゴーの木を大きくしたいといていたが、そのマンゴーは、ウルシ科で、肌に弱い人・敏感な人は、かぶれることがあるとのこと。まいったなあ。これから考えてみよう。

隣の森で我が家のすぐ近くには、同じウルシ科のハゼもある。

そして、まったく異なった種だが、我が家の畑の隅に植えたコヘンルーダも本を読むと、肌に水疱をつくったりするという。これは私も心当たりがある。

ステキな植物もいろいろと「副作用」があるものだ。さあ、どうしよう。



2007年5月2日

3月にいっぱい開花したのだが、実をつけるのはほんの少しだ。

今、この木には合計10個あまりがついている。実際に、食べられるようになるかなあ、と期待と心配をしている。今、2~3センチの大きさだ。

2007年9月12日

我が家の主木。庭・畑の中心に鎮座。
毎年1メートル近く伸びる。現在、高さは
5メートル近い。今年は実もつけたが、少
しずつ落ちていき、7月の台風で、ついに
全部落ちる。

マンゴー農家の話を聞くと、結実収穫の
ためには、大変な苦労が必要とのことだ。
我が家では、大きく伸ばす方針で、「好い
加減」な手入れですませている。



2008年2月16日

昨年以上にたくさん 実が大きくなることを期待



2008年5月24日

百をはるかに越える実がついている。色づきはじめて
のものも。

ビニールをかけるとかの手入れをしていないので、大半
は落ちてしまうだろう。

それでも10個ぐらいはと期待している。



2008年6月21日

大阪の高校教員御一行が研究会のため来沖した折、我が家訪問。マンゴーをお土産に持ってきてくださったが、我が家のマンゴーにご対面ということになってしまった。

2008年6月21日

接写する。大きさが15センチ余りになる。
あと半月ぐらいで収穫できるか。



2008年6月29日

庭のマンゴーから落ちた10cmほどの実。もったいないので保存しておいたが、熟して皮が黒ずんできたので、捨てようとした。

思いなおして、皮をむいて、ちょっと食べてみた。おいしかった。まさにマンゴーの味。

早めに落ちた実でもおいしく食べられることを発見。初めて食べる我が家のマンゴーだ。

木についている、20個あまりの実に袋かけしてあるので、期待できるかもしれないと思っている。昨年のように台風でみんな落ちてしまうことがないように願うばかりである。

2008年7月19日

収穫をスタートした。

一週間もすれば食べころだろう



2008年7月26日

収穫終了。全部で30~40個

はじめての収穫としては上出来だろう



2009年2月12日

すさまじい数の蕾

来週ぐらいから花が咲き乱れるだろう

昨年は40個ぐらい収穫したが、今年は何個か、

期待は高まるが、隔年現象というのもある



2009年2月21日
三階ベランダから撮影
木全体が、つぼみでおおわれている。
手前が庭の芝生

2009年2月24日
一昨日開花スタート
いつもは見かけない蠅がどこからか集まってくる
これで受粉
夏の結実を楽しみにしよう。



2009年3月6日
赤ちゃんたち

2009年3月26日

我が家のマンゴーについては何回となく紹介してきたが、幹の部分はまだだった。高さ6メートルの木を支える幹は、周囲をはかったら、90センチだった。

この木は、以前の土地所有者が植えたもの。近隣の農家のみなさんから、高さをおさえる剪定をして、ビニールをかけたほうがよい、とアドバイスを受ける。

しかし、私は実に期待するよりも、大きな木になることのほうを期待している。それでも、去年は40個実った。



2009年5月4日

がんじゅう駅の苗木販売出店で、我が家のマンゴーのことを聞いてみた。さすがプロの方々だ。すぐに、それはキンコーマンゴーだろうということになった。

台湾産で、ビニールハウスなしでも育てられるというのだ。家に帰って、インターネットでいろいろと調べてみて、こんなことがわかった。

台湾の金煌という名前の人がつくりだした種だとのこと。台湾と沖縄で栽培されているが、多くないという。

甘味が、通常のマンゴーよりずっとある。大きく、1kgを越すのはざらで、2kgを越すものもあるという。

色は熟しても薄緑のまま。薄緑色のままということと、大きすぎるということで、贈り物用にはなっていないという。2kgというのは収穫していないが、他はすべて我が家のものにあてはまる。

この木とつきあって5年になるが、やっとわかった。

去年は40個くらい収穫したが、今年も現在数百個くらい実をつけているが、最終的には100個あまりくらいになりそうな気配だ。



2009年6月5日

昨年の収穫後、混み合った枝を剪定して根元に置き、堆肥を2〜3袋あげた。

でも今数えきれないほど実る。200個ぐらいか。我が家は、たった一本の木だが。1ヶ月ぐらいで収穫。雨にも鳥にも耐えてね、と祈る。



2009年6月23日

今のところ落ちたものだけだが、来週からは本格的収穫だ。落ちたものでも美味しい。キンコーマンゴーは見かけが良くないので商品化には難しいらしいが、味は悪くない。それに大きい。20センチのものもザラにある

2009年6月25日

上写真は、食べ始めたマンゴー

2009年6月29日

大豊作。本日収穫24個。高さ5メートルを超えるので、高いところは、剪定をかねて、枝ごと取る。素人農法だが、結果良ければすべて良しの精神で、やっている。今のところは順調以上だ。

2009年6月29日

先の記事のものの大きさは、11～16センチ。

5月の記事に書いたが、我が家のはキンコーマンゴー。
よく見かけるアップルマンゴーやキーツマンゴーとは異なる。
ビニールハウス不要という、私には好都合。昨年は、
袋かけをしたが、今年はしていない。まさに自然農法！

このマンゴーは、黄色くとか、紫色にはならない。緑色
のままで熟していく。収穫後数日ぐらいで、ほんのり黄色
くなり、おさえてやわらかみを感じれば、食べごろ。

こうもりが狙っているので、収穫のタイミングは難しい。
落ちたり、こうもりに取られたりするよりはましなので、
早目に収穫している。

私の手入れは、昨年の収穫後、三分の一ぐらいの枝を剪
定し、根元に置いたことと堆肥2袋700円を根元に置いた
ことぐらいだ。

さて、来年はどうなるだろうか

今年の収穫作業は、あと数回しなくてはならない。



2009年7月3日

孫などに送る。

まずは10箱

農協で箱を買おうと、栽培農家扱い？

2009年7月5日

収穫に、アメリカンスクール教師が助っ人に来てくれた。

あとから到着した長身の教員が、隠れたマンゴーをどんどん発見。20個あまり隠れていた。



本日の収穫200個近くで、今年の累計300個近くだ。
結構な作業。6人で1時間余り

今日は、マンゴーデーだった。収穫作業の合間に結構なユンタク。

こんなに収穫があるとは、まったくの想定外。皆さんに、おみやげマンゴーをもち帰っていただいた。

来年は、今年ほどの収穫はないだろう。でも、期待する。

我が家の畑は、野菜中心から果物中心へと移っていきそうな気配だ。





2009年11月23日

季節はずれの実をつける。理由不明。
現在数センチ。大きくなるかな。三個

2010年1月25日

蕾。7月はじめの収穫が楽しみ



2010年2月24日

2月初めから少しずつ咲き始めたが、これから一週間で満開状態だろう。

昨年、300個実をつけた時と比べると、ちょっと数が少ない感じ。それでも期待している。

2010年4月5日

我が家のマンゴーは、3月開花、7月収穫だが、写真のものは、季節を間違えて10月開花で、今収穫？を迎えている。しかし、とても小さい。一カ月ほど前、別の一個を恵美子が食べてみたそうだが、「いける」とのこと。



2010年4月15日

昨年は300個も実ってビックリだった。隔年現象といって、一年おきに収穫量は変わるといわれるので、昨年ほどではないにしても、今年もいけそうだ。

2010年7月6日

今日、半分ほど収穫。全部合わせても、昨年の十分の一。昨年は取れ過ぎだろう。それにしても、5メートルを越す高木なので、収穫は大変だ。手で届くのはほとんどなく、高木用ハサミで切り落とすから、落ちた時に傷つくのが続出。





2010年9月11日

我が家の中心に位置している。土地の所有者が植え付けたもの。おそらく15年ぐらいは前だろう。

原因不明だが、地際から斜めに伸び始め、1メートルぐらいから上に伸びる。だから、地面からの高さで測る「目通り」では、『損』をしている。

地上部の枝葉だけでなく、根っこがぐんぐん伸びて、回りの畑地まで行く。ということで、畑をあきらめる面積が広がって

る。

20~30メートルの高さになると知り、我が家の主木にしようと考えていた。結実はそんなに期待していたわけではない。ところが、昨年300個もなった。今年は隔年現象なのか30個だった。それでも、高くなって収穫困難の実が多かった。

それに、周りの木々も大きくなり始め、マンゴーだけを優先して大きくするわけにも行かない。

ということで、この夏、大胆に高い枝を切り落とした。すでに高さ5メートルを越していたが、それ以上は高くしないことにした。写真の幹の周りの枝葉は、先ごろ剪定したもの

2010年12月23日

なぜか、この時期に一斉に開花。いつもなら2~3月の景色。天候異変のせいかな。

果実の隔年現象でいうと、来年は大量に実る年。昨年のように、300個を期待しているが、少々心配だ。





2011年2月3～5日
花から実への流れを写真で紹介していこう。



上左写真は花芽。
12月から現在に

至るまで、次からつぎへと旺盛に芽をつけ開花させている。隔年現象ということであると、今年は豊作年。

上右写真は、花芽が開き始めたところ

中左写真は、花芽=つぼみが開き始めるところ。中右写真はさらに開いた状態 左奥にはすでに開花したのが見える。



今年は、一斉開花ではなく、大変ばらばらに開花へとすすんでいる。



すごくたくさんの方が咲くが、受粉して実になるのは、何百分の1という感じかな。だから農家は、受粉のためにわざわざ蜂をビニールハウスにたくさん入れたりする。我が家の金煌マンゴーは、そうしなくても、実をつける。



下右写真に何個か実の赤ちゃんが写っている。つけた実が食べられるまで大きくなるのは、つけた実のうちのまた何分の1か。





2011年2月14日

上の二つの写真は、赤ちゃんから幼児段階になったというところか。赤ちゃんが次から次へと誕生するこの頃だ。



2011年2月24日

左の写真は、幼児期から少年期へ、と言った感じだろう。

早熟な実は、もうこんなにしっかりしてきた。この枝には、20個近くついているが、2、3個に淘汰されるだろう。

遅いのは、今から開花だ。

今年はさみだれ式の感じだ。

2011年3月31日

右の写真。

たくさんの実だ。勝手に少年期と推理した。





2011年5月6日

初めて摘果をした。写真には、2～5センチ大のもの100個が写っている。

すでにぼとぼと落ち始めているので、今年初めて、やってみることにした。

でも、木には、100～300個ぐらい残っている。

さーて、うまくいくかどうかは、お楽しみである。

それにしても、高いところにあるので、脚立に乗って、冷や冷やの作業だ。



2011年5月8日

6日の記事で、マンゴーの摘果について書いた。

恵美子が、それを漬物にした。

なかなかの味だ。

メロンのものは食べたことがあるが、それに似ている。

2011年5月18日

ここ2、3日の間に、マンゴーの実が、写真のように割れて口をあけているものがたくさん。

おそらく、大雨で水分を吸い過ぎて、割れたのだろう。

落果したものも多い。

乾燥地帯の植物なので、大雨には弱いのだろう。

これで収穫激減になるだろう。残念。

雨で、畑は水過剰状態。斜面なので、たまるということはないが。畑作業もできない。困ったもんだ。



2011年6月1日

台風被害の最大の一つは、マンゴー、レイシなどの果樹の収穫断念だ。

近隣のマンゴー農家もそうだとのこと。

ここで、戦後ずっと農業してきたが、5月に台風がきて、果樹がやられ

てしまうのは初体験だとのこと。

ゴーヤが最盛期の野菜農家も大変な事態。

3月の菊が大打撃を受けたが、このところ近隣の農家は災難続きだ。



大きい枝が折れたのは、右写真の一本だけ。でも、もう10センチは越していた実は、すべて落ちたようだ。それでも、葉は落ちていず、緑色を保っている。



2011年6月13日

台風で、大きくなりはじめた、200～300個の実は、すべて飛んだ。枝も数か所折れた。

その実のついていたところを中心に、新芽新葉がっぱい出てきた。

もしかすると、季節外れに開花するのかもしれない。そして、もしかすると結実するのかもしれない。昨年も季節外れに2～3個収穫したことがある。

恨みと期待が混ざる。

2011年6月23日

右写真は、台風後に出てきた新枝葉が、すっかり覆い尽くしたマンゴーの木



2012年9月10日

毎年、この時期前後にマンゴーの剪定をする。巨大化しているの、私の体力を考えて、何回かに分けて行う。高さ5メートルぐらいだったのを、4メートル近くまで下げる。合計10本余りの枝をかなり下の方で切った。

下右の写真は、落とした枝葉。枯れるのを待って、堆肥にする。太い枝の使いみちを考えている。枝間をつないで置き、ツリーハウスの準備にすることが夢だが、そんなうまく行くはずはないと思う。

元気がいい木なので、切った脇から、1～2ヶ月のうちに新しい枝がでてくるだろう。

昨年は台風だったし、今年是不作の年だったので、実は、来年に期待したい。3年前の300個収穫が再び訪れることを夢見ている。



※ その9月末に、再び強烈な台風の襲撃。2013年は、収穫ゼロだ。



ヤマモモ

2009年1月2日

苗を購入して植えてみる。

その後、ゆっくりと成長してはいるが、重なる台風襲来もあって、順調とはいいがたい。



レイシ(ライチ)

2007年9月13日

前所有者の方が植えたものだが、建物建設のために移植した。3本ある。近所の方の話だと、結構実をつけていたとのこと。移植後3年たって、各々根付いており、来年くらいは、と期待している。高さ3~4メートルである。



2008年4月13日

ついに実をつけた

収穫を楽しみにしている

この木のすぐとなりのマンゴーも、いっぱい実をつけている。昨年は、台風で全滅したが、「今年は」と期待している。

2008年5月24日

数えきれない実

マンゴーとはちがって確実に収穫できるよう祈っている





2008年6月1日

鳥が食べ始めたので、私たちも急ぐ必要あり

2009年3月4日

昨年は、一本の木が二三百の実をつけた。
今年は三本の木すべてが開花。
楽しみだ。



2009年5月23日

我が家のライチは新しい葉がいっぱい
色は赤みがかっているなので、庭・畑が華やぐ

2009年5月28日

今年の初収穫

昨年より少し早い



2010年4月22日

毎年、収穫ができるようになった。

もともと、コウモリとの奪い合いだが。

今年も、6月後半だろう。



2010年6月13日

今年是不作

隔年現象か多雨のためか

300個なった昨年と比べると、今年是不作というべきか。多雨で実がたくさん落ちた。



2010年9月15日

ライチは3本ある。

写真にある一番大きいものが、3年前から実をつけ始めた。大きい木なので、剪定するのが大変だが、選定した枝は、翌年は結実しない。

最近知ったが、酸性土のほうがいいらしい。

ということで、管理はなかなか難しいが、なんとか奮闘している。

現在の高さは、4メートルほど。実を収穫するには、このくらいの高さが限度だろう。

2011年2月11日

たくさんつぼみをつけている。もうすぐ開花。

一昨年が豊作、昨年は不作。隔年現象で、今年は期待。

3本の木が、5月終わりからたくさん実をつけることだろう。

収穫までの様子を連載していくつもりだ。



2011年2月21日

開花が始まった。しばらくすると満開状態になるだろう。

とっても小さい花だ。数ミリ程度。私の腕では、うまくは撮れない。マクロ撮影というのは難しい。

2011年3月7日

今年は、無数のつぼみがつき、開花が始まった。

とても小さい花なので、マクロで撮影した。

花の大きさに相応の、とても小さい虫が花の周りを飛び回っている。



2011年3月31日

満開だった花が終わった。数日前までは、たくさんの虫が集まっていた。

落ちたはなびらが、木の下ベンチに植えにぎっしり。

とても小さな受粉したての実が、見えるか見えないかぐらい。写真ではうまく写らない。





2011年4月22日

花がほぼ終わり、赤ちゃん実が顔を見せ始める

2011年5月26日

最近の多雨のためか、たくさんの実が落ちたが、残った実は急激に膨らんできた。それでも例年より、1～2週間以上遅い感じだ。

この後、さらに膨らみ、赤い色が付いてくると収穫だ。

多分、6月中旬に開始となる。

台風で、実が落ちないことを祈る。



2011年6月1日

台風で、収穫直前の実がすべて落ちただけでなく、葉っぱが、潮風のためか、ほとんどが赤茶けてしまった。実をつけていた枝が、スーッと伸びているのが、いやな感じ。

この後の生育がどうなるか心配。

2011年6月23日

台風被害で、一部分枯れ葉が残っているが。新葉も出てきた直後は、赤みを帯びるので、見分けにくい。一週間もすると、新緑になる。

またもや台風情報。今度は外れて欲しい。

※ この年は、結局、収穫ゼロ



2012年6月13日

我が畑に3本ある。昨年は台風で収穫ゼロ。

今年は、一番大きな木一本がたくさん実をつけた。6月上旬が収穫時期。



樹上で完熟させたいが、赤く完熟して食べごろになると、鳥が真っ先に食べる。右は、食べかけで落とされた実の写真

それで、完熟する寸前を見はからって収穫する。手が届かない所が多いので、高所の実を取る道具を使用する。



今年は、4割が鳥の食糧に、6割が私たちの口に入る。およそ300~400個か。

店で売っているような大きくて立派で肉厚のものではないが、味わえるものではある。

※ この後も巨大台風の襲撃で、ダメージは大きい。とくに一番大きな木は、主枝をもぎ取られた。2013年は、収穫ゼロ。ライチの花芽は、前年春の枝につくから、2012年台風の後遺症が、2013年に及んだのだ。しかし、回復は進んでいる。2014年に期待したい。